

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 8025 URL https://www.tsukamoto.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート (氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330  
本部副本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,037	△27.4	△146	—	△64	—	△39	—
2023年3月期第2四半期	6,940	△5.4	57	△33.0	135	△7.0	128	24.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 924百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 25百万円(△79.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△9.92	—
2023年3月期第2四半期	32.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,833	12,726	47.4
2023年3月期	25,808	11,900	46.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,726百万円 2023年3月期 11,900百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△6.8	70	378.3	150	9.7	120	84.5	29.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. (4) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	4,069,747株	2023年3月期	4,069,747株
2024年3月期2Q	33,785株	2023年3月期	50,505株
2024年3月期2Q	4,026,453株	2023年3月期2Q	4,008,590株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行もあり、社会経済活動が正常化へ向かっており、国内景気は緩やかな回復基調となりました。

一方、日米での金融政策の違いに伴う円安傾向の継続、長期化するウクライナ情勢などを背景とした資源・資材価格の高騰、エネルギーコストの高止まりが続き、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境下において当社グループは、依然、円安影響の残る中、仕入価格の見直しをおこない売上総利益率の改善や、販売費及び一般管理費における経費削減に努めたものの、一部事業での受注額の減少や高経費体質の販売事業から撤退したことが大きく影響し、前第2四半期連結累計期間に比べ減収となりました。

厳しい経営環境下ではありますが、当社グループは、2022-2024年度を計画期間とする中期経営計画に基づき、引き続きコア事業の強靱化と新規事業開発の促進を行うとともに、消費者へのダイレクト提案やコスト削減による効率経営の実践と経営資源の有効活用による生産性の向上に注力し、全営業部門黒字化の実現を目指してまいります。培った商人魂とフロンティア精神のもと、モノを製造するだけでなく、そこから生まれるサービスをどう広げられるかを追求し、伝統の継承とともに改革を実行することで、企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,037百万円（前年同期比27.4%減）、営業損失は146百万円（前年同期は営業利益57百万円）、経常損失は64百万円（前年同期は経常利益135百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は39百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

## &lt;和装事業&gt;

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、高経費体質の催事から撤退したこと等により減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は430百万円（前年同期比26.9%減）、セグメント損失（営業損失）は105百万円（前年同期はセグメント損失102百万円）となりました。

## &lt;洋装事業&gt;

メンズ事業、レディス・OEM事業につきましては、受注額が減少して大幅な減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の第2四半期における案件が大きく減少したことにより減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は2,231百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント損失（営業損失）は70百万円（前年同期はセグメント損失59百万円）となりました。

## &lt;ホームファニッシング事業&gt;

ホームファニッシング事業につきましては、店頭販売不振にともなう受注減により大幅な減収となりましたが、黒字基調は続いております。

以上の結果、当事業分野の売上高は497百万円（前年同期比68.2%減）、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期比78.4%減）となりました。

#### <健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、GMSや家電量販店での販売は好調に推移しましたが、主力であるテレビ等の通信販売の不振の影響が大きく減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,307百万円（前年同期比22.6%減）、セグメント損失（営業損失）は140百万円（前年同期はセグメント損失95百万円）となりました。

#### <建物の賃貸業>

建物の賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化もなく、前連結会計年度並みに推移しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は528百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益（営業利益）は286百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産の部は、流動資産における受取手形及び売掛金が460百万円減少したこと及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価等により1,421百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,024百万円増加し、26,833百万円となりました。

負債の部は、流動負債における支払手形及び買掛金が176百万円減少し、固定負債における投資有価証券の時価評価による税効果により繰延税金負債が433百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ198百万円増加し、14,106百万円となりました。

純資産の部は、株主資本における利益剰余金が配当金及び親会社株主に帰属する四半期純損失により160百万円減少し、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が986百万円増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ826百万円増加し、12,726百万円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,230百万円となり前連結会計年度末から71百万円の増加（前年同期は453百万円の増加）となりました。この主な要因は以下の通りです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は212百万円（前年同期は137百万円の減少）となりました。これは棚卸資産が増加し、仕入債務がやや減少しましたが、前期からの売上債権の回収が進んだこと等が主な要因であります。この結果、前年同期と比べて349百万円の収入の増加となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は7百万円（前年同期は842百万円の増加）となりました。これは、ECサイト構築ほかソフトウェア取得による固定資産の取得支出が11百万円生じたこと等が主な要因となります。この結果、前年同期と比べて850百万円の支出の増加となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は134百万円（前年同期は252百万円の減少）となりました。これは主にリース債務返済による支出17百万円の減少及び配当金の支払額である118百万円の支出によるものです。この結果、前年同期と比べて117百万円の支出の減少

となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2023年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,169,450	2,240,755
受取手形及び売掛金	1,968,590	1,507,849
電子記録債権	101,082	170,200
棚卸資産	1,789,011	1,861,533
その他	712,551	599,145
貸倒引当金	△220	△20
流動資産合計	6,740,465	6,379,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,086,864	2,037,666
土地	10,562,576	10,562,576
その他(純額)	108,416	103,466
有形固定資産合計	12,757,857	12,703,709
無形固定資産		
その他	64,427	58,841
無形固定資産合計	64,427	58,841
投資その他の資産		
投資有価証券	4,721,142	6,142,468
出資金	800,115	800,115
退職給付に係る資産	642,574	657,531
その他	217,071	226,051
貸倒引当金	△135,501	△135,091
投資その他の資産合計	6,245,402	7,691,074
固定資産合計	19,067,687	20,453,625
資産合計	25,808,153	26,833,089
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,040,991	864,202
電子記録債務	1,114,186	1,142,151
短期借入金	5,051,284	4,654,123
1年内返済予定の長期借入金	1,430,000	1,500,000
未払法人税等	32,138	34,840
未払消費税等	10,665	280
契約負債	16,508	8,405
その他	446,714	374,594
流動負債合計	9,142,490	8,578,598
固定負債		
長期借入金	1,550,000	1,880,000
繰延税金負債	2,263,159	2,696,278
再評価に係る繰延税金負債	12,660	12,660
退職給付に係る負債	211,575	212,275
資産除去債務	3,032	3,032
その他	724,523	723,440
固定負債合計	4,764,952	5,527,687
負債合計	13,907,442	14,106,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	710,644	713,177
利益剰余金	6,809,814	6,649,277
自己株式	△60,710	△40,643
株主資本合計	10,289,593	10,151,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,504,803	2,491,231
繰延ヘッジ損益	5,281	△6,026
土地再評価差額金	9,152	9,152
退職給付に係る調整累計額	91,879	80,789
その他の包括利益累計額合計	1,611,117	2,575,147
純資産合計	11,900,710	12,726,803
負債純資産合計	25,808,153	26,833,089



## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,940,080	5,037,748
売上原価	5,180,949	3,541,965
売上総利益	1,759,131	1,495,782
販売費及び一般管理費	1,702,037	1,641,915
営業利益又は営業損失(△)	57,093	△146,133
営業外収益		
受取利息	1,751	1,505
受取配当金	119,264	112,356
投資有価証券売却益	4,250	9,072
保険配当金	6,026	5,582
その他	28,652	7,246
営業外収益合計	159,944	135,763
営業外費用		
支払利息	50,414	43,378
手形売却損	617	1,002
為替差損	27,270	6,190
その他	3,702	3,906
営業外費用合計	82,004	54,477
経常利益又は経常損失(△)	135,033	△64,847
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	135,033	△64,847
法人税、住民税及び事業税	6,229	△24,887
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	6,229	△24,887
四半期純利益又は四半期純損失(△)	128,803	△39,959
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	128,803	△39,959
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,984	986,427
繰延ヘッジ損益	△48,765	△11,307
退職給付に係る調整額	△7,801	△11,090
その他の包括利益合計	△103,550	964,029
四半期包括利益	25,253	924,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,253	924,070
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	135,033	△64,847
減価償却費	65,276	68,302
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△190	△609
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17,473	△25,347
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△130,747	—
受取利息及び受取配当金	△121,015	△113,965
支払利息	50,414	43,378
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,250	△9,072
売上債権の増減額 (△は増加)	△431,342	347,989
棚卸資産の増減額 (△は増加)	123,430	△72,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	42,421	△68,508
為替差損益 (△は益)	—	△1,150
固定資産売却益	—	△793
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63,728	△10,384
その他	145,823	45,615
小計	△206,348	138,084
利息及び配当金の受取額	115,296	101,863
利息の支払額	△52,684	△43,405
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	6,620	15,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137,115	212,197
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△17,749	△11,465
有形及び無形固定資産の売却による収入	295,463	3,689
投資有価証券の取得による支出	△137,945	△912
投資有価証券の売却による収入	5,480	10,380
出資金の回収による収入	700,000	—
その他の支出	△31,930	△47,110
その他の収入	29,339	37,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	842,658	△7,697
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,262,000	656,303
短期借入金の返済による支出	△1,388,000	△653,464
リース債務の返済による支出	△5,567	△17,776
自己株式の取得による支出	△177	△435
配当金の支払額	△120,279	△118,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252,025	△134,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	453,518	71,305
現金及び現金同等物の期首残高	1,817,762	2,159,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,271,280	2,230,755

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

2023年3月期決算短信における(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	585,015	2,601,896	1,563,718	1,687,549	476,496	6,914,677	25,403	6,940,080
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,759	18,528	-	1,209	40,107	63,604	34	63,638
計	588,775	2,620,425	1,563,718	1,688,759	516,604	6,978,282	25,437	7,003,719
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△102,346	△59,344	207,641	△95,585	274,335	224,700	△45,975	178,725

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「ホームファニシング事業」の店舗に係る固定資産及び在庫を譲渡したこと等により、前連結会計年度の末日に比べ「ホームファニシング事業」のセグメント資産が518,835千円減少しております。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	224,700
「その他」の区分の損失(△)	△45,975
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△121,631
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	57,093

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	429,766	2,230,876	483,336	1,305,034	487,460	4,936,475	101,272	5,037,748
セグメント間の 内部売上高又は振替高	588	161	13,882	1,990	40,718	57,341	1,516	58,857
計	430,354	2,231,037	497,219	1,307,024	528,179	4,993,816	102,788	5,096,605
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△105,867	△70,861	44,879	△140,672	286,516	13,995	△31,738	△17,743

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	13,995
「その他」の区分の損失(△)	△31,738
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△128,389
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△146,133

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。